

製品名: WASP/Wiskott-Aldrich 症候群タンパク質ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe87336

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:20000, ICC/IF 1:20-1:50, FC 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 53 kDa; Observed MW: 60 kDa

抗原情報

遺伝子名	WASP/Wiskott-Aldrich syndrome protein
別名	THC; IMD2; SCNX; THC1; WASP; WASPA
遺伝子 ID	7454
SwissProt ID	P42768
免疫原	ヒト WASP/ウィスコット・アルドリッチ症候群タンパク質の合成ペプチド

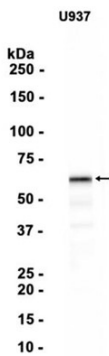
背景

ウィスコット・アルドリッチ症候群 (WAS) タンパク質ファミリーは、類似したドメイン構造を共有し、細胞表面の受容体からアク

チン細胞骨格へのシグナル伝達に関与しています。多数の異なるモチーフの存在は、これらのタンパク質が多数の異なる刺激によって制御され、多数のタンパク質と相互作用することを示唆しています。最近の研究では、これらのタンパク質が、アクチンフィラメントの形成を制御することで知られる低分子量 GTPase Cdc42、および細胞骨格形成複合体 Arp2/3 と直接的または間接的に関連することが実証されています。ウィスコット・アルドリッチ症候群は、免疫調節異常および微小血小板減少症を特徴とするまれな X 連鎖劣性遺伝性疾患であり、WAS 遺伝子の変異によって引き起こされます。WAS 遺伝子産物は細胞質タンパク質であり、造血細胞でのみ発現し、WAS 患者でシグナル伝達および細胞骨格の異常を示します。代替プロモーターの使用の結果として生じ、異なる 5' UTR 配列を含む転写バリエーションが報告されているが、その全長は不明である。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

画像データ



WASP/Wiskott-Aldrich 症候群タンパク質ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、U-937 細胞抽出物のウエスタン ブロット分析を行いました。